

障連協にゅーす

第 37 号

発行日 2016年1月20日
 編集集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 高津 修
 住所 旭川市宮前1条3丁目3番7号
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 37号目次

1 年頭の挨拶・障害者週間

2 障害者相談支援センター・ご寄付ご寄贈 2月・3月スポーツご案内・編集後記

年頭の挨拶



新春を迎えましてお喜び申し上げます。皆様に幸多かれとお祈り致します。

当会、旭川障害者連絡協議会（障連協）年間事業に対しまして、各障害者団体、ボランティアの皆さまに、ご理解とご協力を賜りまして心より感謝致しており、誠に有り難うございます。

おびったの指定管理者としてスタッフ一同、ご利用者の安全安心な場所としてご来館くださるよう努力致しております。昨年も国外ではテロ事件が多く発生していますが、遠い国の出来事と思えば日本ではあまり関心がないと思われそうですが、昨年の11月フランスでの同時多発テロが発生し多くの市民の無差別大虐殺が起きました。これから日本もサミット、4年後ラグビーのワールドカップ、5年後東京オリンピックと国際大会が控えており、多くの外国人が訪れるのです。日本の周囲は海ですので簡単に入ってこれるため不安が一杯です。日本もイスラム国のターゲットであることは既に報じられております。国内では自然災害による多くの犠牲者がでました。また、毎日のように人が人を殺めるといふ事件が多発している悲しい出来事の記事を目にします。何か平和すぎて刺激がほしいのか、命の大切さを大きな声で訴えるようにしたいものです。障害者問題では、2016年4月より「障害者差別解消法」が制定されます。

【不当な差別的取扱いは、役所も会社やお店もしてはいけません】ここに【合理的配慮】は役所はしなればなりません、会社やお店は努めなければなりませんとなっております。身体障害者は見ると解りますが、身体以外の障害者は見ためでは解りませんので、もし差別を受けるような事があった場合は、自分から勇気を持って言うようにしましょう。健常者の方々には障害者ということを一人数でも多く皆様にご理解いただくように、チラシや報道、マスコミを使っていくように、お願いしたいものです。障連協として、市よりの年間委託事業として、①旭川市障害者スポーツフェスタ ②旭川市障害者スポーツ記録大会 ③旭川市障害者週間記念事業に多くの障害者が参加する行事にボランティアとして年間約100名位の学生さんがお手伝いしていただいております。この経験によって障害者に対して、ご理解されていると確信いたします。旭川は差別化がなくなるのではと信じております。市としても北彩都開発に力を入れています。おびった周辺も変わることによりおびったの利用者も増えることと思いますので障連協としても指定管理者として努めて行こうと思っております。今後とも皆様方のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

旭川障害者連絡協議会 理事長 高津 修

平成27年度 旭川市障害者週間記念事業

当日は雪が降りしきる中、平成27年度旭川市障害者週間記念事業が平成27年12月6日（日）におびった2階体育館で開催されました。

冒頭は旭川市長西川将人様様の代理で旭川市福祉保健部長野崎幸宏様のご挨拶で始まりました。続いて実行委員長工藤フサが開会宣言をしました。旭川障害者連絡協議会理事長 高津修、旭川市議会副議長小松あきら様、旭川市社会福祉協議会会長大沼克己様にご挨拶頂きました。アトラクションは旭川大学・旭川大学短期大学部手話サークル「ド・レペ」の皆さんによるハンドベル演奏、手話歌で始まりました。続いて難病患者団体の事業所KKB48の演舞「心のプラカード」（YouTubeでも閲覧可能）、旭川市福祉保険部障害福祉課障害事業課長補佐長井真志様より自立支援協議会相談コーナーの説明があり、旭川

市ゆるキャラの「あさっぴー」と「ゆつきりん」の紹介がありました。午後からは旭川市消防音楽隊による吹奏楽演奏から再開しました。

この後、旭川市消防本部南消防署救急隊主査 橋本祐一様による記念講演 テーマ「救急医療を考える～緊急搬送のありかた～」について力説されておりました。アトラクションはうた塾の皆さんによる合唱、Ashfa（アシュファ）によるバンド演奏と続きフィナーレは、なんじゃ祭本舗 & チームびあどらごんによるYOSAKOI演舞で締めくくりました。最後に副実行委員長 麻生道弘が閉会宣言をして終了しました。



